



きゅうゆうせいほごほうそしやう せいぎ
旧優生保護法訴訟とわたしたちの正義

ちいろば会理事 富田忠一

ひさびさ くに しほう せいぎ じっかん はんけつ で あ
久々にこの国の司法の正義を実感できる判決に出会った。

2月22日 大阪高等裁判所の太田晃詳裁判長は、旧優生保護法について「特定の障害がある人などを一律に『不良』であると断定すること自体、非人道的で、個人の尊重という憲法の基本理念に照らし容認できない。子を産み育てるかどうか意思決定する自由を侵害し、明らかな憲法違反だ」と述べ、「国が障害者に対する差別・偏見を正当化し、助長してきたとみられ、原告は訴訟を起こすための情報や相談機会へのアクセスが著しく困難な環境にあった。除斥期間の適用をそのまま認めることは著しく正義・公平の理念に反する」として、一審の判決を取り消し、国に合わせて2750万円の賠償を命じました。また、「当時の国会議員が旧優生保護法を立法したこと、今日に至るまで国会議員が救済立法を行わなかったこと、厚生労働大臣及び内閣総理大臣が救済措置を講じなかったこといずれも違法である。」と言及し、旧優生保護法に基づく施策が障害者らへの差別や偏見を正当化し、助長してきたと国を批判しました。

3月11日には、東京高等裁判所でも平田 豊 裁判長が同様の裁判で国に1500万円の賠償を命じる判決を言い渡しました。大阪高裁、東京高裁それぞれの判決を国は真摯に受け入れることを求め、上告しないよう緊急署名活動も行われました。しかし、国は「除斥期間の法律上の解釈・適用に関して、本件事案にとどまらない法律上の重大な問題を含んでいる。」として大阪、東京それぞれ、高等裁判所の判決に対して上告し、再び、被害者の人権を踏みにじり、二重三重の苦しみを与える選択を行いました。

大阪高裁、東京高裁での判決は、わが国が今日に至るまで障害者差別を容認し、優生思想に基づいて多くの障害を持つ人たちの人権を侵害してきた歴史を顧みなければならない必要性を示したものとと言えます。今日までの障害者施策にかかわった立法、行政関係者のみならず、本来、障害者の権利を擁護すべき立場にあった、障害者の家族や障害者施設などの職員までもが、本人の意思を無視した不妊手術に少なからず関与してきた事実を明らかにして、これまでの障害者への支援における過ちを深く反省することから始めなければならないのではないのでしょうか。

1989年ちいろば園が設立した当時、親の会の集まりの折、親御さんたちの雑談で、「うちの子ども(不妊手術)やらなあかんと思てんねん、あんたとこはもう、やったん?」「〇〇〇〇(県内の入所施設の名前)は女の子は手術しとかな入れてもらわれへんしなあ」というような会話を何度か耳にしたことがあります。はじめて聞いたときには、「えっ、どういうこと」と驚いた記憶はありますが、そのうちに、そのような会話を慣れて違和感を抱かなくなってしまっていた当時の自分を今日は大いに恥じています。1948年から1996年まで、48年もの間このような法律がまかり通る社会を許容してきた罪を私たちはそれぞれの立場から懺悔しなければなりません。最高裁では、被害者のみなさんが長きに渡る苦しみから解放されるよう正義に基づく司法判断がいちいちはやく下されることを祈ります。

二〇〇〇年十二月十二日

第三種郵便物承認

毎月(二・三・四・五・六・七・八の日)発行



～ しゅたいせい かんが 主体性を考える ～

グループホーム しゅにん よねだ まもる
主任 米田 守

「主体性」とは？ しゅたいせい い み しら じぶん い し はんだん こうどう しる
意味を調べてみますと自分の意思・判断で行動することと記されてい
ます。では、りようしゃ かたがた しゅたいてき えん かつどう く
利用者の方々が主体的にちいろば園での活動やグループホームでの暮らしの
なか じぶん い し はんだん せいかつ
中で自分の意思や判断で生活してもらうためにはどうすればよいのでしょうか？

① りようしゃ しゅたいてき かつどう かんきょうせいび と く も じ
利用者が主体的に活動できる環境整備に取り組む・・・グループホームにも文字だけ
では理解できない方に視覚的にもわかりやすいピクトグラムや写真などを表示しています。

しかし、まだまだものたりず理解しにくい部分も多いです。また、そうして表示したもの
が日 中 活動のちいろば園とグループホームとで違うものであれば りようしゃ かたがた
にっちゅうかつどう えん ちが
ますます利用者の方々
も混乱してしまいます。グループホーム間でも同様に このような掲示物を共 通したもの
に統一し利用者の方々がたとえ他のグループホームに移られても混乱せずに住めるような
グループホームにしていきたいと かんが
考えます。

② りようしゃしゅたい い み もくてき しよくいんかん きょうゆう く きょう
利用者主体の意味と目的を職員間で共有する・・・グループホームでの暮らしは共
同生活です。たとえば じぶん い し はんだん りようしゃ き じかん
自分の意思や判断でひとりの利用者がみんなで決めた時間やルール
を守らなければ それが「主体性」といえるのでしょうか？ しよくいん りようしゃ じぶん い し
職員は利用者が自分の意志で
判断したことだからとほうち ほうか りようしゃ めいわく しよく
放置してしまえば他の利用者の迷惑にもなりかねません。また、食
事 じ じゅんぴ しゅたいてき しよくいん しごと
の準備が主体的にできるようになったことで職員がおこなうこと（仕事）がひとつでも
へ かんが しゅたいせい こうどう はんだん たい せきにん ともな
減るからと 考えてはいないのでしょうか？「主体性」にはその行動や判断に対して責任も伴
います。そのようなことも利用者の方々に説明し理解してもらわないといけませんし職員
かん ほんとう もくてき きょうつうにんしき しよくいん りようしゃ ちよくせつしえん
間でも本当の「目的」を共通認識しなければなりません。職員が利用者に「直接支援」
する以上に「主体性」を支援するほうが大変なことだと かんが
考えます。

ちいろば会の今年度の目標は「利用者主体の事業所を実現する」です。それぞれ職員
が 共 通した支援の認識や目的がもてるように職員間でもいろいろな かんが いけん だ
きょうつう しえん にんしき もくてき しよくいんかん
考えや意見が出せる
しゅうだん かんが もくひょう じつげん しよくいん もくひょう たい いしき
集団でありたいと考えます。また、この目標を実現するには職員の目標に対する意識
たか ぜんいん おな もくひょう と く かんが じっこう
を高め全員が同じ目標にむかって、「どう取り組んでいくのか？」を 考え実行していくの
です。職員側も主体的にどう行動できるかがポイントになってくるのではないのでしょうか。

1年が経って

グループホーム職員 内勢昌博

昨年の5月10日に初めてグループホームで勤務して1年が経ちました。

私は当初「私の友人が別のグループホームに勤務している方がいて、その方にも出来るのなら自分にも出来ると思った」そう思っていました。グループホームの仕事も、せいぜい利用者の方たちが、ちょっとした出来ないを手伝うだけで、後は掃除と洗濯程度の簡単な仕事だと思っていました。でも、その考えは間違っていると言う事は直ぐに気が付きました。面接のときに施設長と話をさせて頂いた時に、そもそも、障害者差別と言う物が存在していると言う観点に立っていると仰っておられたからです。私は驚きました。てっきり差別なんて存在しないって言われると思っていたからです。私は、帰りの車の中でそれはどう言う事なんだろうと考えました。差別が存在しているから存在している組織ってどういう事なんだろうと、その時初めて、少し舐めていた自分に気が付きました。ほんの簡単な仕事だと舐めていたんです。私の今までの職の選び方は、お金と条件とあと自分の能力的に出来るかどうかだけでした。そもそも、私は自分の友人と言いながら部屋が散らかっていて汚いからと言う事だけで他人を判断し自分よりも能力が劣っていると勝手に思い込み、しかもそれを志望動機にしていたんです。その上その人程度の能力でも出来る仕事なのなら、自分にも出来るだろうとそう考えていたんです。私は本当に自分が恥ずかしくなりました。

そして、当初私が持っていたグループホームでの勤務と言う物のイメージを全て入れ替える必要があるとそう思いました。実際、勤務が始まると日々の勤務の流れを見るだけでも精一杯な日々が続きました。何度もミスをしたり、自分では、これは必要な支援だと思っていたら間違っていて、本当に立ち止まってよく見てみれば分かるのに、その時は分からない。そんな事を何度も何度も繰り返していますが、その度に周りの職員の方たちに声をかけて貰って気づかせて貰ったり、分からない事や支援の仕方や考え方なんかを教えてもらったりして、本当に何度もお世話になっています。そして、本当に日々、勉強になる事ばかりです。

1年が経って振り返ってみますと、私がグループホームの勤務に感じているものは、他の職種の

時には感じなかった、こんな自分にも人の役に立てる事があるんだと思えるやりがいいです。そして、いつも親身になって教えて下さる周りの職員の方たち、出来ない私を受け入れてくださっている利用者の方々への感謝の気持ちです。これからも、色々気づかされる事や学んで行く事が多くあると思いますが、このちいしば会での仕事を自分の学びの場として頑張っていこうと思います。

みなさんよろしくお願いします。



おも りかい こと
想いを理解する事えんしよくいん ひで た ま き
ちいろば園 職員 秀田真希

わたし がちいろば会に入 職 して1年半が過ぎました。なが 長いようで、おも かえ ほんとう、あつという間の1年半でした。ちいろば会では「利用者主体の事業所」を目指していて、その取り組みの中の1つにみんなの会の利用者の方達が盛り上げてくれている「合同終 礼」があります。過去のちいろばだよりの中にも何度も出てきている合同終 礼ですが、まいしゅういろ 毎 週 色んな利用者の方の発 表、見ていて面白かったり、新しい発見があつたりと、とても楽しみにしています。そんな合同終 礼での利用者の方たちの発 表に 私 も関わらせてもらおう事があります。せっかく 発 表 するのだから、発 表 する利用者の方が、どう感じたか、どんな想いがあるのかを、き 聞いている人たちにぜひ伝えて欲しい！と思うのですが、それが本当に 難 しくて、いつも悩んでばかりです。つた 伝えたい事を、まずは、いっしょ 一緒に準備をする 私 が理解しないといけないのですが、利用者の方それぞれに合わせた質問の仕方や、表 現 の仕方、少しでも利用者の方が想ったこと ちか 近づけるようにと思いながら、一緒に 考 えたり、質問をしたりするのですが、何度もやってもしん 自信はありません。

でも、その中でも、なかに すこ 少しでも、ほんとう うれ 嬉しくなります。はやくち 早く口になっちゃう人には、そうならないようにどうしたらいいのかを かんが 考 えたり、ことば はな 言葉が むずか 難しい人の発 表 では、こちらが一方的に音声読みあげ機能を使用するのではなく、ほんにん いま はなし 本人に今この話の発 表 をしているとちゃんとわかってもらう為に、イラストや写真を見てもらったり、一緒に、ジェスチャーを れんしゅう 練習してみたり。しょうじきほんとう しょうじきほんとう たいへん 大変で 難 しいです。「どうすればいいの??」と悩んでばかりで、せんぱいしよくいん 先輩 職員の方に質問やアドバイスを求める事ばかりをしています。いっしょ ぶんしょう つく 一緒に文章を作ったり、れんしゅう 練習をしていくなかで、わたし かお み わたし れんしゅう し すぐ私の顔を見て私と練習してくれる利用者の方と一緒にいると、難 しいけど、なんて楽しいんだろう。と思う事もあ

す。
せんじつ しょくいんべんきょうかい なか 先日 職員 勉強 会の中で、しえんしゃ いっしょ せいちょう 支援者も一緒に 成 長 しないと支援の 成 長 は無い。と 勉 強 しました。あいて き も かんじょう だいさんしゃ ほんとう りかい こと 相手の気持ちや感情を第三者が本当に理解する事なんてできないと思います。だけど、その中で、なかに すこ 少しでも 共 有 し、きょうゆう 共有し、うまく聞き出す事を、何度も繰り返しながら、私 自身 すこ 少しでも せいちょう 成 長 しながら、利用者の方たちの生活の一部になっていけたらいいなと思います。

『グループホーム職員しょくいん やくわりの役割について』グループホーム職員しょくいん たかだ 高田 拓

グループホームでは様々な特性を持った利用者が日々職員しょくいんの支援を受けながら生活しています。

その日常生活の中で生じる、利用者だけでは実現困難な部分の手伝いや支援をグループホームの職員しょくいんとして行っています。内容としては、グループホームに帰宅後の手洗い、入浴や夕食の支援、就寝前の歯磨きや翌日に着ていく服の準備等の手伝いなどです。

その中で忘れない様になっている事は、洗濯機を回す前に利用者の洗濯物のポケットなどに何か物が入っていないか確認してから洗濯機を回す様にしています。その他にも、夕食のタイミングに利用者の皆が自室から出て来れる様に前もって声を掛けに行く時や、乾いた洗濯物を仕舞うのを手伝う時に「夕食まで後〇〇分です。」と声を掛けて、夕食の時間を意識してもらるようにしています。夕食の支援も食後の服薬確認等の他に、水分の摂取制限がある利用者に対して、今何杯分の水分をすでに飲んでいて、あと何杯飲めるのかをツールを使って分かりやすく伝えています。短い間に一気に水分を取ってしまうと後で「喉が渇いているのにもう制限分飲んでいてもう飲めない」と言った事になるので、水分摂取のタイミングが分散する様に誘導もしています。

利用者それぞれの過ごし方もその日のテレビ番組などで変わる事があり、その結果として生活リズムも変わってしまう利用者もいます。例えば、早くに寝てしまうと夜中に起きてしまう利用者や、逆に夜遅くまで寝ずに朝なかなか起きてこれない利用者も居るので、利用者の様子を見ながら、歯磨きや翌日の準備の手伝いに入るタイミングを臨機応変に変えながら、夜中に目が覚めない時間帯や、グループホームで決めた就寝時間までに就寝出来るように支援をしています。手伝いや支援の内容も、洗濯物を一人で干せる人には任せて後で確認させてもらい、一人では難しい人とは一緒に干す様にして、翌日に着ていく服装の選択も、天気予報等を見ながら自力で準備が出来る人にはしてもらい、難しい人には職員しょくいんが

選んだ服の候補から選んでもらう様にして、個々の利用者に対して何処まで手伝うのかを考えながら日々の支援を行っています。朝も日によって朝食に起きて来れない利用者に対しては、目を覚ましてもらう為にその日は順番を入れ変えて朝食の前に着替えてもらう日があったりと、順番に拘らない部分は臨機応変に変更して、守ってもらう部分は守ってもらえるように意識して、利用者達の日常生活が維持出来る様な支援を続けていく事が、グループホーム職員しょくいん やくわりの役割だと思っています。



— ぼくも わたしも みんなが^{しゅやく}主役 —

- 質問① 名前と年齢は？
 質問② 家族にまつわるエピソードは？
 質問③ 学校、就労時代のエピソードは？
 質問④ 最近気になっていること、興味があることは？

① 木村朋子です。52歳です。

② 父、母、姉と4人でくらしています。

今はコロナで行けませんが、家族で旅行に行くのが
 楽しみです。回転ずしを食べに行くのが大好きです。

③ 三郷小学校、三郷中学校、県立高等養護学校。

(楽しかったこと) 信貴山下から2回乗り換えて通学するのが楽しかったです。

(つからかったこと) 小学校の時、後ろから押されて手首を骨折したことがあります。

とても怖くてつらい経験でした。ギブスをすることになり、お風呂で髪や身体を洗うのも
 自分ひとりでは難しくお母さんに手伝ってもらっていました。

奈良市で病院のシーツを洗う小山産業で約1年間働きました。

上司のかたにやさしくしていただき楽しく仕事が出来ました。

④ スマホでゲームをするのが好きです。夜は、アレクサで音楽を聞いてくつろいでいます。

人とうまく話が出来るようになりたいです。きれいな文字がかけるようになりたいです。



柳瀬弘一です。41歳です。

① 20年近く前にお父さんが亡くなったので、

② お母さんと二人で暮らしています。

お母さんは最近体調が悪くて、少し前には
 検査入院していたのでぼくはとても

心配しています。生駒市に住んでいるお姉ちゃんは、ぼくとお母さんのことを

心配してよく家に来てくれます。小学6年生の姪っ子が遊びに来てくれた時は、
 一緒にゲームをするのが楽しみです。

③ 斑鳩小学校、斑鳩南中学校を卒業してから、奈良情報経理高等専修学校に入学した
 けどすぐに辞めました。革靴をはくのがすごく嫌でした。

そのあと、奈良県立高等養護学校に通いました。陸上部で長距離を走っていました。

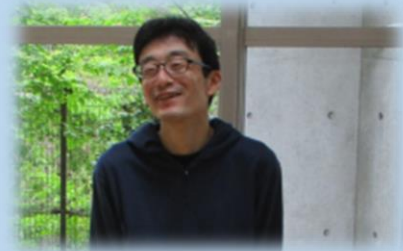
高等養護学校を卒業したあとちいろば園に通うことになりました。同じ学校から

斎藤くんも森川くんも一緒だったから安心でした。

④ 今は、お母さんの体調が心配です。

乃木坂46、櫻坂46、日向坂46 とかの坂道シリーズが好きです。西友の本屋でよく

立ち読みしています。大阪にできた『星野リゾート』に行ってみたいです。



わたし たちめきに 決めないで！

— グループホームの再編に反対する奈良県集会報告 —

ちいしば園主任 奥田陽子

今、厚生労働省では、障害をもつ人たちの暮らしの場であるグループホームの制度を変えようとしています。グループホームで暮らす当事者の意見も聞かず、そこで暮らす人たちの暮らしにかかわる制度を変更してしまうとする厚生労働省の姿勢は許せません。このような動きに対して、グループホームを運営する大阪、奈良の13団体で「グループホームの再編に反対する緊急行動ネットワーク」を組織し、反対の声をあげる活動をしています。4月14日、「グループホームの再編に反対する奈良県集会」をいかるがホールで開催しました。集会では、主催者が問題点を整理したのち、グループホームで暮らす4名の当事者（ひまわりの家2名、ちいしば園2名）がそれぞれに自分の想いを語りました。自分たちの暮らしのことを「私たちがめきに決めないで！」という怒りの感情がとてもよく伝わってきました。その想いをしっかりと受け止め、反対行動を継続していきたいと思います。

～～ 参加したちいしば園利用者のみなさんの声 ～～

「訓練のためのグループホームはおかしい！寝る訓練？！食べる訓練？！お風呂に入る訓練？！トイレも訓練？！そんなのすぐおかしい!!グループホームは訓練所ではありません!! 人数が増えることにも反対です。トイレを待たされたり、ごはんを食べる順番が遅くなったりするのも嫌だし、けんかが増えるし、グループホームは6人が限界です!!ちゃんとぼくたちの意見を聞いてほしいです。」(斎藤総一郎)

「今暮らしているグループホームを出るのは嫌です。3年で出るグループホームも、訓練するグループホームも、人数が増えるのも嫌です。人数が増えたら、ゆっくりとごはんが食べられなくなるから困ります。自分たちのことを勝手に決められるのは腹が立ちます。私たちの意見を聞いてほしいです。」(西田久美子)

「自分たちの意見を聞いてほしいです。5月18日、東京へ行って院内集会でしっかりと自分の意見を言います。」(前平正恭)

「グループホームに入っている4人の人の、熱い想いが聞けてよかったです。」(船井裕史)

「集会で、ひまわりの家のみなさんに会って、元気が出ました。ぼくは、一人暮らしがしたいです。訓練するグループホームはいらん!反対!」(辰巳普宣)

「集会に参加していた藤本さん夫妻が、大きな声で意見を言っていたことに感動しました。自分の意見を言うのは大事ななーと思いました。」(村上智子)



～～ 出席して下さった議員・政党関係者のみなさんの声 ～～

「一人一人の人の人としての強い想いを聞くことができました。」

「しっかりと地元の声を聞いて修正していくのが政治家だと思っている。みんなで力を合わせてよい制度にしていきたいです。」

「直接、グループホームで暮らしている方の声をきいて、潜在的に一人暮らしを望んでいる人がいるということを知りました。ずっと今のグループホームで暮らしたいと思っている人がいることもわかりました。直接聞いた声は、国会での議論に反映できたらいいな、と思います。」

★後援会費・ちいろばだより年間購読料 (2022年2月1日～2022年3月31日)

ご協力ありがとうございます。

篠原範子、中村康子、清水 浩、奈良人権部落解放研究所、医)金泉会 金泉年郁、

増田広正、小園昌代

以上 敬称は略させていただきます

新年度 (2022年度) のちいろばだより年間購読料のご協力をお願いします。

購読料の納入は、添付の郵便振替用紙にてお願いします。

ただし、昨年度途中 既に、後援会費もしくは購読料を納入済みの方々については、

重複しての納入は結構です。振替用紙は次の機会にご使用ください。

今年は、上映会を開催します！！

6月11日 (土) 午後1時開場 午後1時30分開演

兵庫青商会製作・ドキュメンタリー映画

ニジノキセキ —「4.24」の未来へ、七色の架け橋—

1948年に発令された「朝鮮人学校閉鎖令」との闘い・・・

そして、今日も高校、幼児教育・保育無償化除外との闘い・・・

この国の差別に 抗い、民族教育を守りぬこうとする在日朝鮮人の姿を描いた

ドキュメンタリー「ニジノキセキ」を上映します。

新型コロナウイルス感染予防のため、一般参加枠は 25人までの完全予約制です。

参加を希望される方は、事前にちいろば園までお申し込みください。

映画の詳細については、ちいろば会ホームページ (トップページ) でご確認ください。

申込先 : TEL/0745-72-1923 FAX/0745-72-1924

担当 : 玉野、阪口

が あんない ブルーベリー狩りのご案内

今年も ちいろば園のブルーベリー畑にて

7月～8月の収穫の時期にブルーベリー狩りを実施します。

日程などの詳細についてはホームページでお知らせします。

みなさまのご来園お待ちしております。



二〇〇〇年十二月十二日

第三種郵便物承認

毎月 (一・二・三・四・五・六・七・八の日) 発行

KSKS ちいろばだより

編集人／ ちいろば会後援会

年 6 回 頒価 50 円

連絡先／ 奈良県生駒郡三郷町勢野北 5-6-14

TEL : 0745-72-1923 FAX : 0745-72-1924

発行人／ 関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4 F